

クモ目ジグモ科

ワスレナグモ

Calommata signatum Karsch, 1879

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵27

島根県固有評価：隔離分布種

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

県内の産地がわずかであり、個体数も少ない。

【概要】

体長メス18-20mm、オス6-7mm、地中生活。土中に長さ15cm内外の途中で少し折れ曲がった管状の巣を作り、地表面に2mmの管状部を出し放射状に触糸を出す。管状部の最深部に甲虫などの食べかすを置きその上に占座する。日本、朝鮮半島に分布する。

【県内での生息地域・生息環境】

県内では隠岐（島後）、出雲市大社町及び津和野町に

生息地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○	○	○				○					○								

記録がある。乾いた赤土などの草のない平坦になったところに穴を掘る。入口に扉はない。ジグモは自然の凹みを利用し掘り始めるが、本種は乾燥した明るい平坦なところに掘り始める。

【存続を脅かす原因】

乾燥した崖の開発改修。

クモ目トタテグモ科

キノボリトタテグモ

Ummidia fragaria (Dönitz, 1887)

島根県：準絶滅危惧 (NT)

写真 口絵27

島根県固有評価：-

環境省：準絶滅危惧 (NT)

【選定理由】

隠岐（島後）を含む県内全域に個体数は少ないながら、広く分布することがわかり、環境省レッドリスト2012に準じて準絶滅危惧種とする。

【概要】

体長メス10-11mm、オス6-8mm、体全体が黒紫色。産卵は7月下旬から8月上旬、1個体の産卵数は10~70個。幼虫は巣内で越冬し春に巣内から出る。

【県内での生息地域・生息環境】

近年隠岐（島後）を含む県内各地で生息が確認された

生息地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
○	○	○	○	○				○					○								

が、それぞれの地での生息個体数は、きわめて少ない。

【存続を脅かす原因】

生息場所が極端な乾燥状態になったり、農薬の空中散布が行われると絶滅に瀕する。

クモ目コガネグモ科

キジロオヒキグモ

Arachnura logio Yaginuma, 1956

島根県：準絶滅危惧 (NT)

島根県固有評価：隔離分布種

環境省：-

【選定理由】

県内の産地がまれであり、個体数もごく少ない。

【概要】

体長メス25-28mm、大型のクモである。腹部の前方は二分し背甲後方を覆い、後端は長くのびて尾状で、先端に先の丸い突起がある。

地上1.5-2mの樹間にキレ網をはる。

本州、四国、九州および南西諸島に分布する。

【県内での生息地域・生息環境】

県内では、益田市七尾山中腹でメス1個体の記録があ

るのみ。1月の月平均気温2℃以上の地に生息する暖地系のクモである。1980年4月に益田市七尾山中腹のヤブツバキの樹林にキレ網に占座するメスの成体1個体を発見する。一晩室内で造網の様子を観察し同場所にはなすも再度発見されていない。九州南部、南西諸島の亜熱帯性気候の地では山地の樹林でごく普通にみられる。

【存続を脅かす原因】

山林の開発・改修。

生息地域				山地地域				里地域				平野地域				海岸地域					
東部	中部	西部	隠岐	森林	草原	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	森林	草原	農地	河川	湖沼	林地	草地	砂浜	河口
		○		○																	